

将来の価値創造に向けた重要課題

DXによる競争力強化

素材・化学産業にとって、サステナブルな社会の実現に向けた製品やソリューションの提供は事業創出のチャンスである一方、製品ライフサイクルの短縮化などが進んでいることから、デジタル革新の取り組みを通じて事業の競争力を高めることが求められています。当社はデジタル革新を通じ、イノベティブな人材、高いアジリティを持つ組織風土を作り出し、お客さまへ新しい価値を提供します。

2022-2024年度 中期経営計画における全体戦略

DX戦略1.0で実施してきた研究開発、プラント、サプライチェーンマネジメント、オフィスの4領域における生産性向上の取り組みと並行して、今後は各事業部門主導で事業特性に応じたDX課題に取り組み、各事業での競争力強化につながるDX戦略2.0および新たなビジネスモデルの創出を目指すDX戦略3.0に注力します。



DX戦略2.0における2つの柱

01 データ利活用による最適な事業運営の実現

高度にデータを利活用できる環境を整備し、
事業の競争力強化に直結した課題の解決に向けて、デジタル手段を積極的に活用

収集

社内外で発生するデータを
戦略的、効果的に収集します。

- 工場データ
- 研究データ
- ビジネスデータ 等

蓄積

収集したデータを加工・集計し、
データをいつでも、迅速に
使うことができる形で蓄積します。

- データ資産化、連携

利活用

蓄積したデータを、ユーザーが
可視化・分析ツール等を用いて
利活用し、データ駆動型の
意思決定ができるようにします。

- 分析・可視化による
価値創出

リアルタイムで
質の高い
意思決定

02 デジタル人材の確保と活用

業務領域ごとにデジタル人材を定義し、基礎から実践まで独自の研修プログラムで育成しています。実業務でデータを活用できるデジタル人材を全部門に配置することで、DXの全社浸透・定着を実現し、全社としてDXを推進していきます。

研究開発・製造部門

実業務でデータ解析・利活用できる人材を拡充します。

データサイエンティスト

高度なデータ解析技術をもち、個別のテーマ支援と合わせて、全社的なデータサイエンスの普及・定着に向けた要素技術の実装を図る人材

2024年度
累計目標

30名

データエンジニア

高度なドメイン知識とデータ解析手法を組み合わせ、課題の具体解決を図る人材

2024年度
累計目標

300名

(うちR&D系100名 生産系200名)

事業・本社部門

全部門へのデジタル人材配置を目標に育成を本格的に開始しています。

ビジネストランスレータ

事業全体の課題解決のために適切なデジタル技術を選択し、導入をリードする人材

2024年度
累計目標

150名

ビジネスデータアナリスト

担当事業の実務を理解したうえでデータを利活用し、業務改善を進めることができる人材

2024年度
累計目標

100名

全社でのDX推進体制構築に向けた具体的な取り組み

- 全役職員を対象に、DXリテラシー教育を実施
- 2020年以降、社内各所で推進しているDXに関する取り組み事例を全社で共有し、デジタル革新をさらに加速させることを目的に、社内イベント「DXリポトリ」を毎年開催(2022年度には、国内外グループ会社を含む約1,200名が参加)
- 2019年以降、DXに関する従業員各人のモチベーションや各部門の推進力の向上を目的に、優れたDXの取り組みについて毎年表彰を実施

DX戦略3.0推進チームを発足

2023年1月、当社はデジタル革新部にDX戦略3.0推進チームを設置しました。このチームはデータサイエンティストだけでなく、豊富な事業経験を持つ人材や、顧客体験を高めるサービスをデザインするエクスペリエンスアーキテクトなどのメンバーによって構成されており、「ビジネスモデル変革による価値創出」をミッションとして掲げています。このミッション達成に向けて、本チームは、データ利活用による新たなビジネスアイデアの探索、事業化の企画とプロダクト開発を通じたビジネスのローンチ、DX戦略3.0を推進するための人材育成と体制整備に取り組み、多様で豊富なビジネスアイデアと、当社が有するコア技術および長年蓄積してきたデータを結びつけることで、持続的なビジネス創出を実現します。失敗を恐れないマインドと高いアジリティをもって、化学メーカーならではの価値を提供するべく挑戦していきます。



Team "Value-nauts" メンバー

※ DX戦略3.0推進チームの愛称。「value(価値)」と「nauts(探求者)」という二つのワードを組み合わせたもので、どんな困難にあっても価値を追求することを諦めない、という意志が込められている。